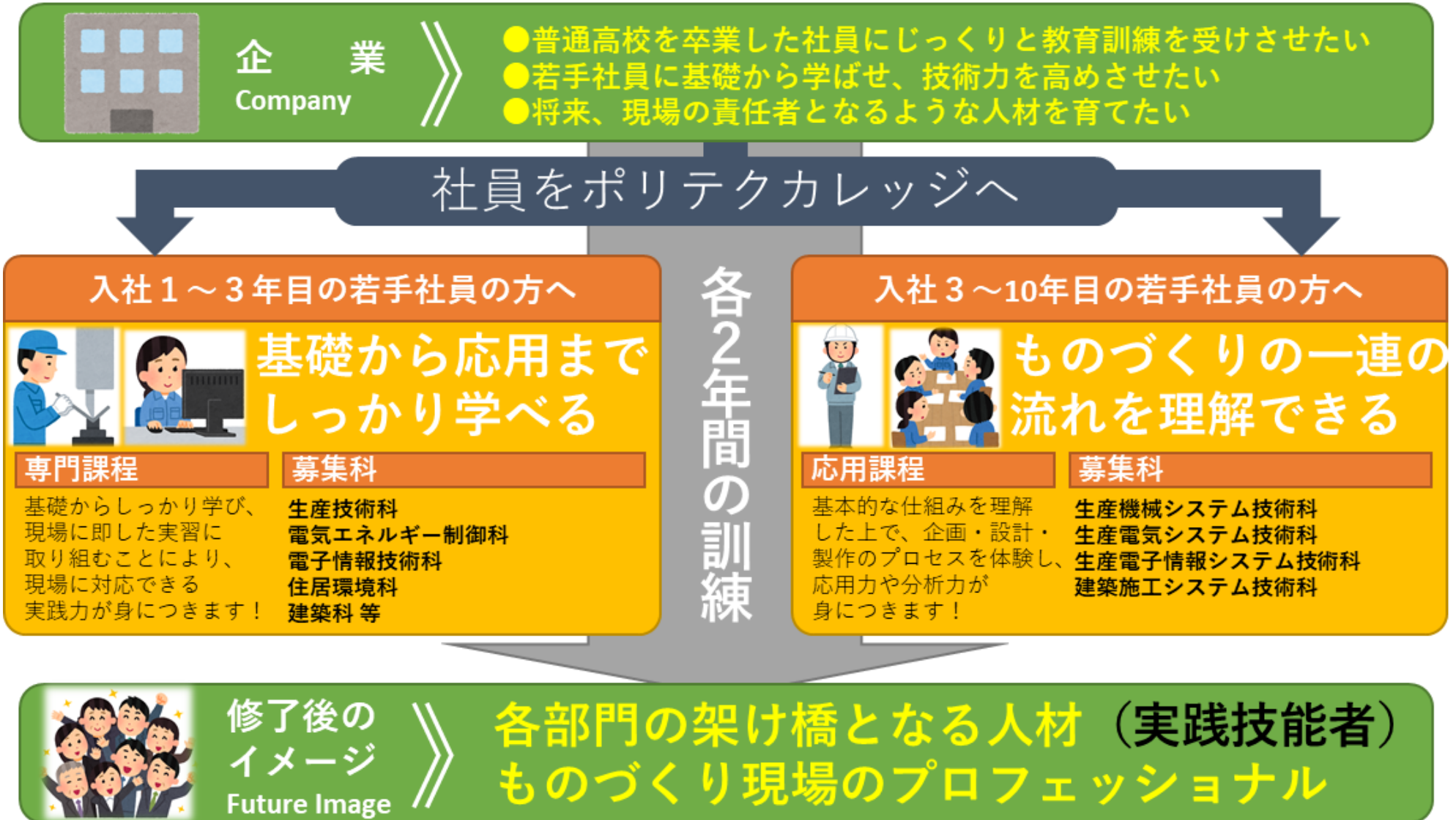




ポリテクカレッジを活用した 人材育成のご案内 (事業主推薦制度)



事業主推薦制度 (従業員がポリテクカレッジに入校できる制度)



⇒企業の人手不足感が強まる中、採用活動の一環で事業主推薦制度を利用する企業が増えています。

事業主推薦制度 (従業員がポリテクカレッジに入校できる制度)

- **対象者** 事業主が推薦する方で、次の（１）、（２）のいずれかの条件を満たす方

【専門課程】

- （１）学校教育法による高等学校を卒業した者（卒業見込の者も含む）
- （２）上記（１）と同等以上の学力を有すると認められる者

【応用課程】

- （１）専門課程の高度職業訓練を修了した者（応募科と同系に限る）
- （２）実務経験その他により専門課程の高度職業訓練を修了した者と同等以上の技能及びこれに関する知識を有すると認められる者

- **経費**

	入校料（初年度）	授業料（年間）	テキスト代等（※）
専門課程	169,200円	390,000円	5万円～10万円程度
応用課程	112,800円	390,000円	5万円～10万円程度

（※）テキスト代等は訓練科によって異なります。

- **制度利用の流れ**



事業主推薦制度を活用して入校する従業員の例

① 普通高校等出身の新入社員（事例③）

(対象者) 初めてものづくりの現場等に従事することになる未経験者

(活用目的) 中小企業の人材確保手段

② 就業後2～3年目の若手社員（事例①）

(対象者) ものづくりの知識・技能・技術等をレベルアップさせたい

(活用目的) 中小企業等がものづくり力向上を目的に活用

③ 就業後3～10年目の若手社員

(対象者) ものづくりの現場等のリーダーに育成したい中堅社員

(活用目的) 応用課程に入校させて生産現場のリーダーを育成

④ 中小企業等の事業承継者（事例③）

(対象者) 事業を承継する予定だが、ものづくり分野での就業経験がない者

(活用目的) ものづくり現場の基礎知識・技能・技術等の習得を目的に活用

事業主推薦制度は国の助成金「人材開発支援助成金」が利用できます！

人材開発支援助成金／助成内容

	賃金助成額 1人1訓練あたり1,200時間を上限		経費助成率 ^{1人1訓練あたり} 中小企業50万円、大企業30万円を上限	
	人材育成支援コース	事業展開等リスクリ ング支援コース※	人材育成支援コース ※正社員の場合	事業展開等リスクリ ング支援コース※
中小企業の場合	800円／時間	1,000円／時間	45%	75%
大企業の場合	400円／時間	500円／時間	30%	60%

訓練期間中に社員に支払った賃金の一部と入校料、授業料、テキスト代等の経費の一部が助成されます。

社員が雇用保険被保険者であることや、1か月前までに社員が受講予定の訓練計画等を提出するなどの要件があり、助成額にも上限があります。

【助成例(1年目)】中小企業における参考例(人材育成支援コース)

● 賃金助成 800円 × 1,200時間(上限) = 960,000円

● 経費助成 (入校料169,200円 + 授業料390,000円 + テキスト代等約80,000円) × 45% = 約287,600円

合計 約120万円

※人材開発支援助成金(事業展開等リスクリニング支援コース)は、令和4年～8年度の期間限定の助成金として創設されました。

本助成金は、新規事業の立ち上げなどの事業展開に伴い、事業主が雇用する労働者に対して新たな分野で必要となる知識及び技能を習得させるための訓練を計画に沿って実施した場合等に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成する制度です。

事業主は必ず助成金を受給できるわけではありません。助成金に係る相談、計画、申請が必要です。
その他、必要な手続きを期日までに行わない場合や、要件を満たさない場合なども支給されません。
詳しくは、都道府県労働局にご相談ください。

～事例紹介～

<人材確保型>

○事例1 若手社員の社員教育に活用

プラスエンジニアリング株式会社（東北職業能力開発大学校／専門課程 生産技術科）

○事例2 若手人材育成プログラムとして活用

日東精工株式会社（京都職業能力開発短期大学校／専門課程 生産技術科）

<事業承継型>

○事例3 文系出身者の育成に活用

有限会社川崎制御設計（関東職業能力開発大学校／専門課程 電気エネルギー制御科）

<コア人材育成型>

○事例4 他分野の技能・技術の習得に活用

株式会社不二越（北陸職業能力開発大学校／専門課程 電子情報技術科）

○事例5 若手社員の即戦力化に活用

株式会社不二越（北陸職業能力開発大学校／専門課程 電気エネルギー制御科）

事例① 若手社員の社員教育に活用

<人材確保型>

入社当時の漠然とした不安が、2年間の教育訓練によって解消されました。

地元の工業高校を卒業し、弊社へ入社。半年間の研修を経て、放電加工の部署に仮配属となりました。日々の業務を通してOJTが行われますが、先輩から教えてもらう専門用語や加工内容の意味を理解することが難しく、意思疎通がうまく取れない状況でした。都度、勉強はするものの、不安な日々を過ごしていました。

入社2年目からは2年間東北能開大の生産技術科で学べる機会をいただきました。東北能開大では、機械製図や機械加工などを改めて基礎から学ぶことができました。仕事では漠然としていたNCプログラムの作成方法やそれに基づいた加工を習得でき、職場へ戻った時には最初にあった不安がほとんど解消されました。現在では、2年間で得た知識や技能・技術を業務に活かしています。

実習だけ出来ても仕事はできない

ものづくりが好きだとやはり加工関連の実習を積極的に取り組みますが、実際に加工を行っている、それに付随する知識も同じくらい重要であることを痛感します。図面と素材を見て、加工工程を考えると、刃物の材質や形状、といしの種類などから加工条件を考えることなど、実際に加工するには様々な知識が必要となります。機械加工に関連する座学や材料力学などもしっかり習得しておく現場に戻ってから大いに役立つと思いました。私のような境遇の方は、ぜひこのような大学校で学んでみてください!!

プラスエンジニアリング株式会社
製造部

S. Sさん

東北職業能力開発大学校
専門課程
生産技術科
(令和5年度 修了)



就職先企業での活躍

修了生Sさんの業務

平面研削盤を活用した粗研削工程を担当。寸法公差だけでなく、幾何公差、表面粗さなど求められる要求も多いため、次工程（仕上げ研削）を考えた段取りなど重要な作業を担当。

平面研削盤を操作するSさん▶



プラスエンジニアリング株式会社

(本社：東京都豊島区東池袋 仙台事業所：宮城県柴田郡村田町)

プラスエンジニアリング株式会社は、各種工作機械を駆使し、幅広い企業から要望をいただき、各製品の要求を満たす精密部品の製造を行っています。

製造する精密部品は多様ですが、共通する特徴があります。それは製造する多くの精密部品が各企業の「生産財」となる部品であることです。

自社で生産した部品が各企業の生産に大きく携わり、広くものづくり企業を支えています。

現在、東北職業能力開発大学校の修了生5名が活躍



企業の人材育成担当者の声 業務部主任 S. S様

近年では、新卒者が入社後数年で壁にぶつかり、離職してしまう事も少なくない状況が続いていました。原因を調べていると、「夜勤」と「業務が覚えられない」との2つが大部分を占めていました。業務がなぜ覚えられないかをさらに探ると、教える側の姿勢と、教えられる側の意識の2つの要素がありました。

これらの対策として、DXを活用して交代勤務のムダを分析し夜勤廃止を敢行。また外部研修を行い、教える側への教え方研修を実施しました。残る教えられる側の意識改善手段として実施しているのが、就業支援制度です。

当初は、加工以外の机上の勉強に効果があるのかなど、心配もありましたが「技術者として自立」したとの実感が本人にも周囲の目にもあります。仮に社内に居続けて、これほどの成長が期待できなかったと思います。やはり、「製造する」ノウハウとそれを教えて「できるようにする」ノウハウは違うと痛感しました。

修了した社員を通じて、東北能開大の高い専門性を実感しております。また、当社は人材開発支援助成金による助成を受けることができたため、社員教育と人材確保という観点で見れば、費用面としても負担はそこまで大きくないと感じています。社内では、この効果を目にして、できるだけ多くの新入社員をこの制度が利用できるようにと考えています。



事例② 若手人材育成プログラムとして活用

<人材確保型>

ポリテクカレッジで学んだことを活かし、
将来は設計も加工もできる技術者として活躍
したいです。

私はものづくりが好きで工業高校に通っており、高校卒業後は
地元での就職を考えて日東精工株式会社に入社しましたが、日東
精工株式会社ではこの制度を利用してポリテクカレッジで学ぶこ
とができることを高校の先生から聞き、高校在学中から知って
いました。

ポリテクカレッジでは、加工に関する授業や高校生の時には学
ばなかった設計に関する授業を受けたり、製図に関するテーマの
総合制作実習に取り組んだおかげでさらに知識や技術、技能を身
につけることができ、今後に生かすことができると考えています。

現在は先輩が設計した製品の図を描く製図に携わっていますが、
ポリテクカレッジで学んだことを生かして、経験を積み重ね、一
人前の技術者になりたいと思っています。

日東精工株式会社ファスナー事業本部

大道 一生 さん (21)

京都職業能力開発短期大学校
専門課程
生産技術科

令和5年度 修了



就職先企業での活躍

大道 一生さんの業務

ファスナー事業部の設計の部署に所属し、ポリテ
クカレッジで身につけた技術や技能を活かし業務に
当たっています。

修了生の大道さん▶



日東精工株式会社 (京都府綾部市)

日東精工株式会社はねじなどのファスナー事業、ねじ締め機などの産機事業、計測検査
機器などの制御事業、医療機器などのメディカル事業の4つの事業を柱とし、海外9か
国と日本に35のグループ会社を持ち、「世界中で認められ、求められる『モノづくりソ
リューショングループ』を目指す」という長期ビジョンのものとものづくりに取り組む企
業。

売上の7割を占めるファスナー事業で手掛けてきた製品
種類は9万種類を超え、そのほとんどの製品がオーダー
メイド品として開発、製造されている。製品は自動車業
界・カメラ業界・携帯電話業界・家電業界・ゲーム機業
界・医療業界・住宅業界など幅広い業界で使用されてお
り、特に自動車業界では大きな実績を持つ。



企業の人材育成担当者の声 人事課 村瀬 様

弊社では人材育成にも力を入れており、その一つとして2022年から
「日東精工次世代若手技術者養成プログラム」に取り組んでいます。

このプログラムは、知識を高めたいという意欲を持っていても進学をあき
らめざるを得ない高校生に学ぶ機会を提供することや、若手技術者の育成、
地域産業への貢献を目的に新入社員から1名を選抜し、学費免除、給与支給
のうえでポリテクカレッジ京都に2年間通学させるというもので、高校生を
対象とした会社案内でも紹介するなど、この制度を利用した採用に取り組んで
います。

「実際に加工できる設計かどうか」が製品開発において重要であり、加工
に関する知識があり、加工ができる設計技術者は大変重宝していますが、多
くはいません。そのため、加工ができる設計技術者を育成して欲しいと思い
送り出しました。

ポリテクカレッジでの豊富な実習を通して高校で習得
した加工の技能・技術をさらに高めるとともに、設計に
関する知識や、技能・技術を身につけたと思いますので、
加工もできて、設計もできる技術者のパイオニア的な存在
の一人となってくれることを期待しています。



事例③ 文系出身者の育成に活用

<事業承継型>

今までとは違う分野での仕事に不安を感じていましたが、
関東職業能力開発大学校での学びと経験のおかげで
今では自信を持って仕事に取り組んでいます。

私は高校、大学ともに文系出身であり、電気や機械に関する知識や技術が無く、就職してからの仕事に不安を感じていましたが、社長である父から「会社に籍を置いたまま能開大に進学してはどうか」と勧められました。

能開大の電気エネルギー制御科では、電気技術や機械の制御技術などを基礎から学ぶことができました。卒業研究では、生産現場を想定した製品の企画・設計・製作・評価といった一連のプロセスを実践できたので、修了後に会社に戻ってからは、自信を持って仕事に取り組むことができるようになったと感じています。

現在は、ロボットティーチングの業務に取り組んでおり、能開大で学んだ知識やスキルが活かれています。このような長期研修の機会を与えてくれた会社にとっても感謝しています。今後は、ロボット事業の第一線として活躍し、会社に貢献していきたいと思っています。

有限会社川崎制御設計 エンジニア
川崎 翔斗さん (28)

関東職業能力開発大学校
専門課程
電気エネルギー制御科

令和4年度 修了



就職先企業での活躍

川崎 翔斗さんの業務

翔斗さんは、ロボットティーチング業務を中心に、ラダープログラム開発や付随する電気制御設計・製作・施工を行っています。産業用ロボットや生産設備をメインに取り扱っているため、状況によってお客様の工場に出向いての作業もあり。出張先でも頑張って作業をさせていただいています。

現在、関東職業能力開発大学の修了生が活躍

有限会社川崎制御設計（栃木県小山市）

2000年創業の『有限会社川崎制御設計』は、工場の生産設備を手がけるメーカー様との取引を主に、専用装置の制御設計・製作・施工を行っています。20年以上にわたり、食品製造ラインや自動車部品の製造ラインの設備製作に携わってきた私たち。その経験を活かし、この度新たに、協働ロボット・産業ロボットを扱う【ロボット事業】を立ち上げました！



企業の人材育成担当者の声 代表取締役 川崎 好壽

これまで、弊社は主に経験者を採用していましたが、専門的な知識や技術を学んでいない新入社員に対して、分かりやすく体系的に教育することは難しく、また、人材不足の影響もあり、OJT担当者の確保や、新人教育に時間をかけることが難しい状況でした。思う様に入社される方が増えず、悩んでいました。ある日、自分の子供である翔斗が父の会社で働きたいと言ってきました。しかし、翔斗は電気制御の知識もなく会社に入って苦労するのではないかと心配をしていました。

そんな中、セミナーなどで良く利用させていただいていた関東職業能力開発大学校の講師より事業主推薦がある事を聞きました。

そこで、関東職業能力開発大学校に入校させて、2年間しっかりと専門的な知識や技術を身につけさせることにしました。長期間の社外研修は会社としても負担はありますが、大切な社員ですから、一人前に育てるのも会社の役目だと思って送り出すことにしています。

関東職業能力開発大学校で翔斗は、専門的な知識や技術だけでなく、電気工事士の資格取得まで行い、将来の幹部候補生として期待しています。



事例④ 他分野の技能・技術の習得に活用

ポリテクカレッジでの学科や実習で習得した知識のおかげで、現在の業務に自信を持って取り組んでいます。

私は高校において、機械加工を中心とする内容を勉強してきましたが、多種多様な技術を必要とする総合機械メーカーにおいて、十分に仕事をこなせるか不安を感じていました。内定をもらったときに「会社に籍を置いたままポリテクカレッジに進学して、電子・情報関連の技能・技術を身につけてはどうか」と勧められました。

ポリテクカレッジでは、2年間、プログラミング技術、電子回路の設計・製作、デジタル制御技術等を学び、また総合制作実習を通して、製品の企画開発から制作までの一連のプロセスを実践できました。また、現在の業務に通じるイメージセンサシステムの構築等も経験することができ、いまは**自信を持って仕事に取り組むことができます。**

このような長期研修の機会を与えてくれた会社にはとても感謝しています。今後は、ポリテクカレッジで学んだことを生かして、活躍できるエンジニアになりたいと思っています。

<コア人材育成型>

株式会社不二越

若林 涼介 さん (24)

北陸職業能力開発大学校

専門課程

電子情報技術科

令和2年度 修了



就職先企業での活躍

若林涼介さんの業務

TQC・TPM推進本部に所属しており、いまは、カーハイドロリクス事業部におけるCVT製品用加工部品の画像検査機を使った検査での誤判定を減らすための改善に取り組んでおります。検査箇所の見直し、画像処理パラメータの変更、照明環境の改善や検査治具の作成などにより、誤判定を減少させることができ、とてもやりがいのある仕事を担当させてもらっています。

上司からの声 TQC・TPM推進本部 西野 清武 様

ポリテクカレッジでいろいろな分野の技術を経験しているおかげで、どんな仕事にも適応が早いです。

現在は、画像検査機の誤判定の改善という難しい内容にチャレンジしてもらっていますが、十分対応できていると思います。今後はこの技術を他部門の製品にも水平展開できるようにブラッシュアップを図り、全社的な活躍を期待しています。



株式会社不二越 (富山県富山市)

不二越は、富山市で工具メーカーとして創業したのち製鋼所を設立し、材料から商品までの一貫生産体制を確立しました。そして、高品質な材料をベースに、工具、ベアリング分野へ業容を拡大してきました。工具に始まって工作機械・ロボット、ベアリング・油圧機器、材料までを手がけている企業は世界にありません。

機械加工、ロボットなどのマシニング事業、ベアリング・油圧機器などの機能部品事業、材料・熱処理などのマテリアル事業という複合・連環型のビジネスで、「ものづくりの世界の発展に貢献」しており、そこでつくられる製品が日本を代表する産業の製造を支えています。



特殊鋼



工業炉



ベアリング



カーハイドロリクス



油圧機器



再研削・現場診断・保守

事例⑤ 若手社員の即戦力化に活用

北陸職業能力開発大学校 専門課程 電気エネルギー制御科
令和2年度修了生 株式会社 不二越 村田 陸音 さん

ポリテクカレッジでの経験

事業主推薦制度を活用

○北陸職業能力開発大学校 電気エネルギー制御科は、電気の基礎から電気制御、環境エネルギー制御、および電子制御関連のカリキュラムを複数名で実習しており現場に即した教育を実施しています。

○村田さんは、「会社に籍を置いたままポリテクカレッジに進学する」事業主推薦制度を利用して北陸職業能力開発大学校で学びました。

○総合制作実習では、「PLCを利用した交通システムの製作」を担当しました。



総合制作実習で製作した交通システム

就職先企業での活躍

株式会社不二越 滑川事業所（富山県滑川市）

ものづくりの世界の発展に貢献します。

高品質な材料をベースに、工具、ベアリング分野へ業容を拡大してきました。工具に始まって工作機械・ロボット、ベアリング・油圧機器、材料までを手がけている企業は世界にありません。

機械加工、ロボットなどのマシニング事業、ベアリング・油圧機器などの機能部品事業、材料・熱処理などのマテリアル事業という複合・連環型のナチ・ビジネスで、「ものづくりの世界の発展に貢献」します。



本社



滑川事業所

職場での活躍

現在は電装設計として、設備の電気図面、プログラムの設計や修正、書類作成、お客様の工場に出張しての設備立ち上げ作業等を行っています。出張では国内のみならず海外での作業も経験しました。どの作業も基礎知識やソフトの使い方等ポリテクカレッジで学んだことを活かして仕事に取り組んでいます。

今後もポリテクカレッジで学んだことを応用して主戦力となるよう仕事に励んでまいります。



村田 陸音さん

上司からの声

仕事に対してよく考えながら取り組んでおり、ポリテクカレッジで学んだこともあり電装設計の業務に馴染むのも早かったです。目を見張るコミュニケーション能力でどんどん技術を吸収していく姿が頼もしいです。現在は比較的小規模な業務を担当してもらっていますが、将来的には規模の大きな業務にもチャレンジしてさらなる技術を吸収し、活躍することを期待しています。



電装設計 一岡さん

**日刊工業新聞（令和6年6月5日）で
「事業主推薦制度」が紹介されました！**

プラスエンジニアリング（東京都豊島区、鈴木重人社長）が、新入社員を職業能力開発高等学校に就学させ、製造現場の即戦力に育成している。今春、1期生が卒業し、早速、工場の肝となる研削工程に着任した。会社が学費や生活費を全額負担している点も好評で、採用にも良い効果が出ている。

（東北・北海道総局長・大橋修） □

1期生は2021年4月入社で、仙台事業所（宮城県村田町）に配属された菅原頌太さん（21）。2年目の22年4月に東北職業能力開発高等学校（同県栗原市）専門課程（2年

職能大就学、新人を即戦力に



研削盤を操作する菅原さん。東北職能大では機械系モノづくり競技会で優勝するなど優秀な成績を収めた

加工を担った。そのなかで、研削盤が重要な役割を担った。2年学び戻ってきた作業してみたら、実際はこうなっていた。浅野謙一郎の会社で、研削盤は「研削は仕上げに近く、やり直しができない」

えないため、会社ではバイトを借り、食事が水道光熱費なども負担。給与も支給しつづけた。ただ、補助金が出たため会社側の支出は年間数十万円で済ん

新卒採用好転、大きな成果

こうした就学支援が、評判を呼び、「この数年は新卒採用でも大きなインパクトがあった」（浅野取締役）。工場では、それまで年1人採れるかどうかだった採用状況が好転。23年4月は新卒で3人が入社。うち2人が2期生としてこの春、東北職能大に進学した。「2年後に卒業したら、同様に研削工程に従事してもらいたい」（同）と期待する。この春も新卒で3人が入社し、うち2人を進学させる予定。その後も、人材育成の重要施策として継続する意向だ。

プラスチック工学費・生活費全額負担

制に入学。生産技術。最初は不安だった作業。入社4年目の社員に任せるのは初めて」とその成長ぶりに驚く。

果

こうした就労
評価を呼びこ
は新卒採用でも

だという。

だという。

あやべ市民新聞

2025年(令和7年)5月7日 水曜日 第6114号

インタビュー

聞き手
あやべ市民新聞社社長
高崎健太



—なぜこのプログラムを始めたのですか。

高校への採用訪問の際、「優秀なのに、家庭の事情で進学を諦める生徒がいる」という

話を伺い、非常にシヨ
「ひたい」という意欲を
ツクを受けました。「学
持つ若者に対して何か

を聞いた

2022年度、高卒の新入社員育成のための「次世代若手技術者養成
東証プライム上場日東精工（本社・井倉町）荒賀敏彦氏は2
プログラムの」を立ち上げた。選抜した社員を舞鶴市のボリテックカレ
ッジ京都（京都府）で能力開発研修大学校にて年間通わせるもので、
期間中に支払った賞費の一部に国からの助成金を得られる、事業主推
薦制度（を活用）した販組の。専から3年、既に多くの卒業生が
現場で「助成力」として活躍する中、プログラムの込めた思いにつ

日東精工・荒賀誠社長に聞く

できないかと強く思
い、当時人事担当役員
だった私が指示してプ
ログラムを立ち上げま
す。高

卒の新入社員の由

[illegible]

地元で働ける仕組みを

高卒新入社員に「給与付き進学支援」

から毎年入生を選抜し、給与と賞金を保証しながら、ホテック・レッジ京都にて年間通学してまいります。学費も全額当社が負担します。卒業後は、短大卒扱いで技術職として現場に配属します。

■ 人材育成の重要性を語る荒井社長と井倉町の日東精工本社で

（宮津・新橋高校出身、ある中、毎日のウエー

卒業生、橋に男性社員（府立豊高高校出身）が学びました。そこで、サポートに

の学びは、通い、取り組んでいます。

一 全国でも同様の体制を、費用負担の

得できるの強みとして、現場でも即戦力として期待されています。

■ 運用面の課題や、ありますが、それ以上

「次世代若手技術者養成プログラム」4年目に手応え

ります。

今後への展望は、
高度採用を含め、若
手人材の確保が年々難
しくなる中、こうした
「先手打型」の人材
育成はますます重要に
なる感じています。

当社は「原則特大型
の奨学金制度も設けて
います。将来的には
他の地企業とも連携
し、地域ぐるみで若者
を支える「綾部なつて
います。」

せん。地元で学ん
で元で働ける仕組み
を私たちが企業と整え
ていくことが、地域
の持続的な活性化に
つながると信じてい
ます。そのためにも
この取り組みを更に
力強く推進して、保
護者、教育関係者、
そして地域企業、皆
さんに知っていただ
きたいと強く願っ
ています。

獨立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 (JEED)

©あやべ市民新聞社 — 京都職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ京都）

※無断転載・複写禁止

※あやべ市民新聞社から著作権利用に関する許諾を受けています

日刊工業新聞社から著作権利用に関する許諾を受けています。

	大学校名	所在地	電話番号
1	北海道職業能力開発大学校	北海道小樽市銭函3-190	0134-62-3553
2	青森職業能力開発短期大学校	青森県五所川原市飯詰狐野171-2	0173-37-3201
3	東北職業能力開発大学校	宮城県栗原市築館字萩沢土橋26	0228-22-2082
4	秋田職業能力開発短期大学校	秋田県大館市扇田道下6-1	0186-42-5700
5	関東職業能力開発大学校	栃木県小山市横倉612-1	0285-31-1711
6	千葉職業能力開発短期大学校 千葉校	千葉県千葉市中央区問屋町2-25	043-242-4166
7	千葉職業能力開発短期大学校 成田校	千葉県成田市並木町221-20	0476-22-4351
8	港湾職業能力開発短期大学校 横浜校	神奈川県横浜市中区本牧ふ頭1	045-621-5999
9	新潟職業能力開発短期大学校	新潟県新発田市新富町1-7-21	0254-23-2168
10	北陸職業能力開発大学校	富山県魚津市川縁1289-1	0765-24-5552
11	石川職業能力開発短期大学校	石川県鳳珠郡穴水町由比ヶ丘いの45-1 ※令和6年度能登半島地震の影響により、 一時的に北陸職業能力開発大学校で業務を実施中	0768-52-1323
12	東海職業能力開発大学校	岐阜県揖斐郡大野町古川1-2	0585-34-3600
13	浜松職業能力開発短期大学校	静岡県浜松市中央区法枝町693	053-441-4444

	大学校名	所在地	電話番号
14	滋賀職業能力開発短期大学校	滋賀県近江八幡市古川町1414	0748-31-2250
15	京都職業能力開発短期大学校	京都府舞鶴市上安1922	0773-75-4340
16	近畿職業能力開発大学校	大阪府岸和田市岸の丘町3-1-1	072-489-2111
17	港湾職業能力開発短期大学校 神戸校	兵庫県神戸市中央区港島8-11-4	078-303-7325
18	島根職業能力開発短期大学校	島根県江津市二宮町神主1964-7	0855-53-4567
19	中国職業能力開発大学校	岡山県倉敷市玉島長尾1242-1	086-526-0321
20	福山職業能力開発短期大学校	広島県福山市北本庄4-8-48	0849-23-6391
21	四国職業能力開発大学校	香川県丸亀市郡家町3202	0877-24-6290
22	高知職業能力開発短期大学校	高知県香南市野市町西野1595-1	0887-56-4111
23	九州職業能力開発大学校	福岡県北九州市小倉南区志井1665-1	093-963-0125
24	川内職業能力開発短期大学校	鹿児島県薩摩川内市高城町2526	0996-22-2121
25	沖縄職業能力開発大学校	沖縄県沖縄市池原2994-2	098-934-6282

※ 各校の【学務課】もしくは【学務援助課】にお問い合わせください。